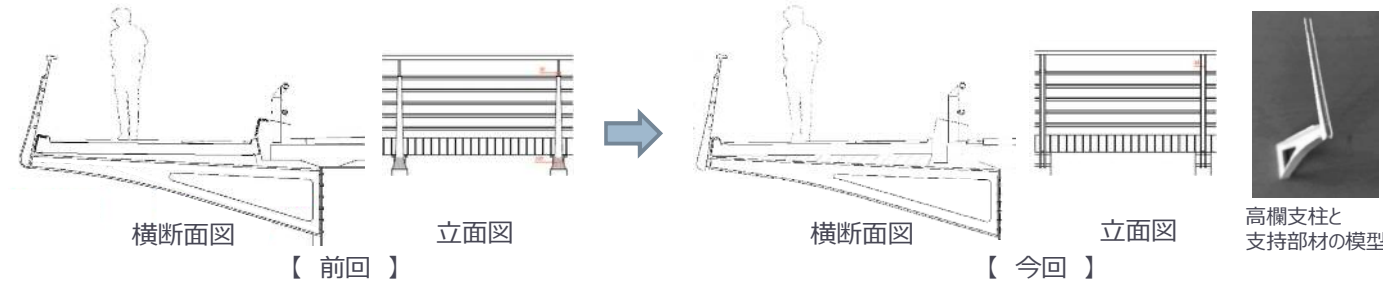


●橋近景のデザイン

大橋川の風景を引き立て、佳麗な橋とするための繊細な仕上げとして、高欄や支持部材の形状をさらに洗練させ、橋脚表面を小幅板の型枠により仕上げることになりました。なお、高欄支柱と支持部材の取り付け形状については、設計のなかで細部検討をすることになりました。



【前回】普通の型枠で仕上げる（写真は事例）



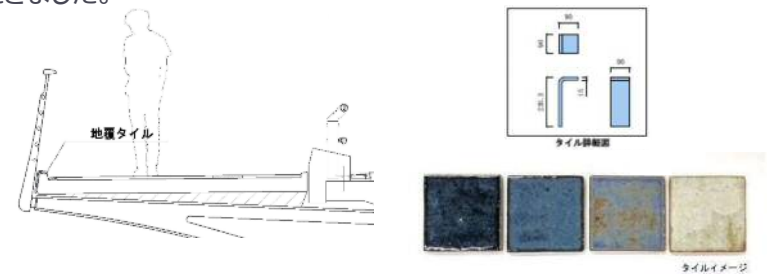
【今回】小幅板の型枠で仕上げる（写真は事例）

●市民参加の取り組み

市民の皆様にも末永く愛される橋にするため、橋の色決めの際の現地掲示や、地覆タイルへの寄附などの市民参加に取り組んでいくことに賛同いただきました。

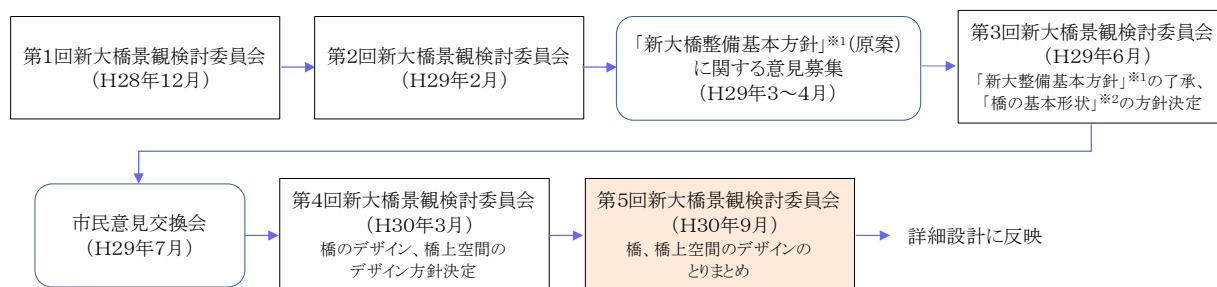


色決めの際の塗装見本の掲示事例



●これまでの景観検討の経過と今後の予定

今回の委員会をもって、詳細設計に必要なデザイン方針等が決まり、一定の節目を迎えることができました。今後は、細部の検討を重ねながら詳細設計に盛り込み、設計を固めていきます。



※ 1「新大橋整備基本方針」とは、新大橋整備が目指す方向性と新大橋の設計を進めていく上での留意事項を定めたものです。
 ※ 2「橋の基本形状」とは、橋本体の大まかな外形のことです。

お問い合わせ先：新大橋景観検討委員会 事務局：島根県都市計画課計画グループ
 Tel:0852-22-5699/Fax:0852-22-6004
 ※新大橋架け替え等事業に関するHP を開設しています。
http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/road/kikan/matsue_kendo/sinoohasi/

新大橋景観検討委員会
【ダイジェスト版】

第5号

平成30年9月6日

「第5回新大橋景観検討委員会」を平成30年9月6日（木）に開催しました。

委員会や市民の皆様からのご意見を踏まえて検討し、これまでに決定した「新大橋整備基本方針」、「橋の基本形状」に沿った、橋全体のデザインのとりまとめを行いました。



●橋全体のデザイン

これまでの委員会で、「現在と同じ5径間（橋脚4基）とする」、「歩道の張り出しを大きくし、支持部材で繊細な印象や表情をつくる」、「フットライトで水辺とつながる明かりを演出する」ことが決まっています。

今回、橋の色について、大橋川の風景になじむよう、高欄は明るいグレー系、桁と支持部材は青系の色味に決まりました。桁と支持部材の最終的な色は、現地に塗装見本を掲示して決定します。



新大橋の外観イメージ（桁の色が青系の明るめの場合）



夜間イメージ（河川敷を含む現況写真に、新大橋と南岸交差点モデルをはめ込んだもの）

● 橋上空間のデザイン

「歩きやすく、佇みたくなる居心地の良い空間」となるよう、また、「渡ってみたいくなる工夫」を盛り込んだ、橋上を構成する各要素の材料、形状、色味が決まりました。

a 舗装

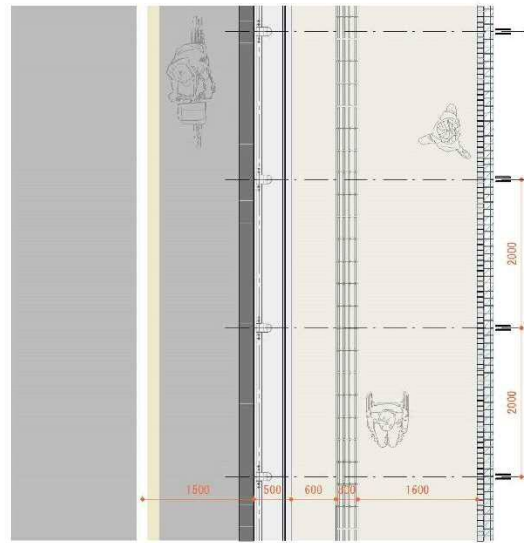
- 歩道舗装：自然石骨材の風合いを活かした脱色As舗装。全体として明るいベージュ系。
- 縁石：排水経路には経年で汚れにくい自然石縁石を配置し、歩道の質感を高める。
脱色Asと相性の良いベージュ系（錆御影など）。
- 誘導ブロック：落ち着いた雰囲気は無彩色系（グレー系）とし、舗装との輝度比を確保。

b 高欄

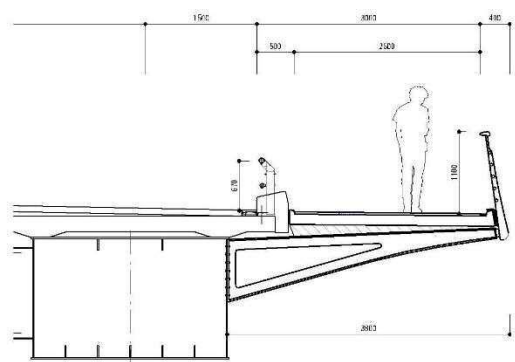
- もたれかかって佇むような利用を想定し、手触りのよい铸铁製トップレール。
- シンプルで透過性の高いスチール製の支柱・ビーム（横棧タイプ）。
- 大橋川の風景に合った明るい無彩色系。

c 親柱

- 水辺への視線を妨げず、橋から水辺につながるような低い横長タイプ。
- 高欄トップレールとつながる铸铁製。
- 親柱全体が浮かび上がるようライトアップ。
- 高欄に合わせた無彩色系（グレー系）。



平面図



横断面図



橋上空間のイメージ

自転車専用通行帯

歩道舗装と相性が良く、空間の統一感が感じられるベージュ系の一部表示。
※表示幅は今後調整

f 照明

車道照明：シンプルなスチール製。
主張しない落ち着いた無彩色系（グレー系）。

e 歩車道境界

歩車道境界：一定間隔のフットライトまわりに
タイル仕上げ。地覆のタイルと同一色。
車両用防護柵：シンプルなスチール製の標準品。
主張しない落ち着いた無彩色系（グレー系）。

d 地覆

釉薬タイル仕上げ
・橋に愛着がもてるよう、島根の風土が生み出した伝統技術を活用。
・大橋川の風景と調和し、利用者が親しみを感じて渡りたくなるアクセント。
・色は、柵・高欄・舗装などとも相性が良い、明るい青系のイメージ。